

県内経済の動き

概況

〔2020年11月～2021年1月の動き〕

一部に新型コロナウイルス感染拡大による影響がみられる

鉱工業生産指数（11月）は14カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（12月 細島港）は10カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は2カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は4カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（12月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（12月）は前月比+0.05ポイント上昇の1.20倍で、1月の企業倒産は前月比1件増の3件、負債額は同31百万円増の3億61百万円となった。

1月には新型コロナウイルスの感染急拡大により県独自の緊急事態宣言が発令され、経済活動の自粛につながった。今後も感染状況をにらみながらの動きとなろう。